

ロータリーに輝きを

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：ゲイリーC.K.ホアン 2800地区ガバナー：池田 徳博 ガバナー補佐：大久保 章宏
会長：布施 富将 幹事：寺崎 利彦 会報委員会 委員長：浅野 裕幸
委員：金田 亮一 茨木 寛司 土屋 瞬 佐藤 直人

第2047回例会

2014-7/15(火) 天気(晴れ)

□例会場：ホテルキャッスル

□司会進行(SAA)：宮舘 順治 君

□点 鐘：PM12:30 布施 富将 会長

□ロータリーソング：「我等の生業」

会長挨拶

— 常任委員会及び小委員長発表 —



皆様今日は、昨日は、1ヶ月続いたワールドカップ決勝戦でありました。私はあまりサッカーは観ませんでしたが日本も出場するという事になり観る様になりました。

日本も一生懸命でしたが今一つだったと思います。ドイツは24年振り4回目であった様です。昨日の夜BSで経済番組でみずほ総研の高田チーフエコノミストの観方は世界金融界で世界一のドイツが勝つと思っていましたとの解説の中でユニフォームもアディダスで対戦相手国(アルゼンチン)はナイキであったそうです。

そして今回はスペインその前はイタリアが優勝したそうですが、二つの国が金融不安を超した国だそうでして今迄の様には行かないでしょうとの事を言っていたのが印象的でした。

さて話は変わりますが7月25日(金曜日)ですが、新入会員様が早く南ロータリーになじんで頂く為にファイヤーサイドミーティングを開催致します。又8月2日の花火観賞、ALSチャリティーゴルフコンペ等、役員の皆様が頑張っておりますので、振って参加頂きます様お願い申し上げます会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

中村 篤 副幹事

1. 親睦活動委員会よりご案内の「酒田花火納涼家族例会」の申込み7月22日(火)までとなっています。
2. 来週7月22日(火)の例会は、定款に基づき休会となります。次回の例会は、7月29日(火)ホテルキャッスルとなります。

委員会報告

■ニコニコBOX 神崎 祐子 君

- 稲村 佳宏君 本日、奉仕プロジェクト委員会の方針発表いたします。よろしくお願ひします。
- 木村 政則君 本日、青少年奉仕小委員会の方針発表いたします。一年間よろしくお願ひします。
- 大久保章宏君 本日、米山奨学会小委員会の方針発表いたします。よろしくお願ひします。
- 長沢 一好君 本日、社会奉仕小委員会の方針発表いたします。よろしくお願ひします。
- 佐々木吉嗣君 本日、ロータリー財団委員会の方針発表いたします。一年間よろしくお願ひします。
- 谷口 義洋君 本日、ロータリー財団小委員会の方針発表いたします。よろしくお願ひします。
- 武田 和夫君 福島県会津で同窓会があり、行ってまいりました。

本日の一言

7月のテーマ

夏本番です。
これからどんどん暑くなってきます。
「あなたの夏バテ対策を教えてください。」

夏は暴飲暴食を避け、
早寝早起きの実行を
心がけましょう!

金子 靖二君

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

常任委員会及び小委員長発表

会員増強委員会



委員長 鈴木 政康 君

会員増強委員会では会員増強小委員会、出席小委員会、ロータリー情報小委員会の3つの小委員会で活動いたします。

- 今年度の基本方針ではすべて会員増強委員会の活動と深く関係しており
- ①ロータリーの基本は例会出席 親睦を通して自己研鑽を図り社会に奉仕しよう
→出席小委員会による例会出席への理解活動
 - ②若い人を育てクラブ活性化の為 語り合おう
→ロータリー情報小委員会による新入会員へのロータリー情報、ロータリアンの心構えの伝達
 - ③クラブ発展の為に会員増強年度末60名の実現
→会員増強小委員会による未充填職業への会員増強
- 各小委員会と連携しながら基本方針の実現のため活動を進めてまいります。



奉仕プロジェクト委員会



委員長 稲村 佳宏 君

奉仕プロジェクト委員会は社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・青少年奉仕委員会の3つの委員会より構成されています。

各委員会とも担当例会が9月は青少年奉仕、2月は国際奉仕、3月は社会奉仕委員会の予定になっておりますが興味のある卓話を期待しております。

他に、年次計画にもとづいて計画を実行していただき、地区のセミナーやフォーラム等々の出席の要請があると思っておりますが、対応宜しくお願い致します。

奉仕プロジェクト委員会を年に数回開催し意見交換をして親睦を深めたいと思います。

奉仕プロジェクト委員会として、COOL JAPAN山形を語る（パート4）についても、状況を見極めながら柔軟に対応してみたいと考えております。

1年間宜しくお願致します。



社会奉仕小委員会



委員長 長沢 一好 君

地区池田ガバナー、山形南RC布施会長の目標方針に沿って活動致します。

今年度計画

- ① ALS協会山形県支部への助成
ALSチャリティーゴルフコンペの実施
8/15(金) 蔵王カントリークラブ (山形北・南・イブニング合同)
今年度、山形イブニングRCも賛同されました。
- ② こども座禅体験会例会
8/30(土) 上山、久昌寺 (親睦活動委員会と共同)
たつご保育園児と保護者、会員とその児童
- ③ 3/10(火) 月間卓話 (社会奉仕) を予定致しております。



青少年奉仕小委員会



委員長 木村 政則 君

1. 青少年奉仕小委員会の活動方針

- (1) 各クラブの会長、青少年奉仕委員長は、各クラブの地域やクラブの特性に応じ青少年の為のプログラムを独自に企画、実践して全てのロータリアンが青少年への関心を高め、問題意識を喚起し、青少年を育成する事の重要性を認識していこうということです。
- (2) 平成22年4月の規定審議会で、新世代奉仕が第5の奉仕部門と決定されました。この決定によりクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に新世代奉仕が加わりました。
- (3) 従来の青少年奉仕ではその対象として、インターアクト年齢からロータリーアクト年齢、すなわち14歳から30歳くらいまでの若者を意識していましたが、「新世代」とは30歳以下と規定され、0歳から30歳までと拡大されました。
- (4) 新世代の為のRIの常設プログラムには「インターアクト」、「ロータリーアクト」、「ロータリー青少年指導者育成プログラム(ライラ)」、「ロータリー青少年交換」が手続要覧に記載されています。

2. 活動計画

- (1) 青少年奉仕セミナーの開催 H26年11月頃
- (2) クラブ会員に「新世代奉仕」の知識と理解を深めてゆく。
- (3) ライラ委員会研修会への参加

国際奉仕小委員会



委員長 青山治右衛門 君

ロータリーの国際奉仕は、ロータリーの世界的発展の賜物といえる。

奉仕の理想を、高く掲げ、共鳴者が世界中に拡がり、自分の繁栄と公共への奉仕が両立する、すなわち、志を同じくする仲間が共に手を接ぐ事によって国際理解、国際親善が出来るようになる事が国際奉仕の眼目であり、ねらいだと思ふ。

この為には、先ず世界各地の実情を知る事が大切ではないだろうか。

今年度の事業計画

- (1) 平成27年2月10日(火) 月間卓話 (世界理解月間)
ゲスト卓話
“激動する日韓関係について” 北海道新聞 前韓国ソウル支局長
(イ) セウォル号にあらわれた韓国の安全意識 (ロ) 北朝鮮による拉致問題の推移 (ハ) 反日の実態 (ニ) 今後の日韓関係のあるべき姿 (ホ) 特ダネ (ヘ) その他
※ゲスト、内容が変更なる場合もあります。
- (2) セウォル号犠牲者への見舞い金(会員のご意見を聞きながら進める)



ロータリー財団委員会



委員長 佐々木吉嗣 君

ロータリー財団委員会は、寄付の要請もしくは金集めの委員会と思われがちですが、ロータリー財団の使命は「ロータリアンが健康状態を改善し 教育の支援を高め 貧困を救済する事を通じて 世界理解 親善 平和を達成できるようにする事」となっております。私達は、財団への支援を通じて、人々の生活向上に貢献する力を得る事が出来る事になります。

また米山奨学会は、「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアにそして世界に理解していただくには、一人でも多くの留学生を迎え入れる事」として、発足されました。その意味を理解する卓話を準備したい。

●ロータリー財団

- 1) 何故寄付をするのかを理解するための卓話を準備する
- 2) 寄付目標 会員一人当たり 年間150ドル
- 3) ロータリーカードの拡充を図る
- 4) 米山奨学会との連携でクラブフォーラムを開催する (11月26日)

●米山奨学会

- 1) 寄付目標 会員一人 年間15000円
- 2) 米山奨学生を受け入れておりますので、本人の卓話
- 3) ロータリー財団との連携でクラブフォーラムを開催する (11月26日)
- 4) 米山奨学会を理解する卓話を準備する



ロータリー財団小委員会



委員長 谷口 義洋 君

当委員会は、会員にロータリー財団の意義と使命を深く理解してもらおうよう、あらゆる機会を通して啓蒙しガバナー・大委員長の方針に沿って活動していきたい。

<地区目標>

1. 地区目標額20万ドルに沿い、一人当たり150ドルとする。
2. ロータリーカードの会員拡大をはかる。
3. ポリオ撲滅に取り組む。

<具体的活動>

1. クラブ寄付として会員一人当たり50ドルとする。
2. 個人寄付として会員一人当たり100ドルの寄付をお願いする。
3. 11月に財団フォーラムを開催して、寄付の推進・カードの拡大をはかる。



米山奨学会小委員会



委員長 大久保章宏 君

2800地区では奨学生の受け入れは累計では182名を数え、全国では17,000名を超える学生を支援しております。出身国は世界116の国と地域に及び、学友には駐日大使や長官、各国のガバナーに就任された方々など世界中で活躍されています。米山奨学会としての目標「もう一度米山奨学事業の理解を上げよう」をスローガンに米山奨学事業を活用してクラブ活動を活性化出来れば幸いです。その為には会員の米山奨学会に対する寄付が大切な資金源となります。宜しくお願いします。

【計画】

- 米山奨学会の理解、寄付の特徴を説明し理解いただく
- 今年度も昨年度から継続で米山奨学生を受け入れ
- 米山奨学生や学友を招き、会員とのコミュニケーションを深め、米山奨学事業へ貢献する
- 寄付目標額 一人15,000円 (普通寄付 5,000円 特別寄付 10,000円)

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	51名		33名	
前回修正	51名	45名	45名	100.0%
他クラブでメイクアップされた会員	(山形西) 川合 賢助 神崎 祐子 難倉 拓史 熊谷 昌和 阿部 浩一 山田 和彦 茨木 寛司 新野 義章 土田 貴英			

※本日の結果は2週間後に報告
※修正は2週間前の結果報告
出席会員数÷算出会員数=出席率
算出会員数とは?
出席義務会員+メイク免除会員の出席者
出席会員数とは?
出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員

